

本サンプル問題の著作権は、日本商工会議所に帰属します。
 また、本サンプル問題の無断転載、無断営利利用を厳禁します。本サンプル問題の内容や解答等に関するお問い合わせは、受け付けておりませんので、ご了承ください。

簿記初級サンプル問題

第1問(30点)

次の各問の空欄にあてはまる答えとして、最も適当なものを選択肢から選びなさい。

- ① 企業の経営活動に必要な財貨や()は、簿記では資産と呼ばれている。

選択肢
債務
資本金
債権
売上

- ② 一定期間における経営成績を明らかにする表を()という。

選択肢
貸借対照表
総勘定元帳
伝票
損益計算書

- ③ 次の中で、簿記上の取引でないものは()である。

選択肢
銀行からの資金の借り入れ
建物の賃貸借契約の締結
従業員への給与支払い
現金の紛失

- ④ 取引要素の結合関係において、資産の増加に対して()が同時に結びつく取引はない。

選択肢
資産の減少
負債の減少
純資産(資本)の増加
収益の発生

- ⑤ 勘定の記入法として、増加または発生の記入が借方側におこなわれるものは、資産および()である。

選択肢
費用
収益
負債
純資産(資本)

- ⑥ 勘定口座への記入を正しくおこなうために、簿記上の取引を借方の要素と貸方の要素とに分解して記録することを()という。

選択肢
転記
集計
仕訳
算定

- ⑦ 合計試算表の借方金額の合計額と貸方金額の合計額は必ず一致する。これを()の原理という。

選択肢
貸借平均
照合
均等
按分

- ⑧ 主要簿と呼ばれているのは、()である。

選択肢
総勘定元帳のみ
仕訳帳のみ
仕訳帳と伝票
仕訳帳と総勘定元帳

- ⑨ 仕入先から受け取る納品書や領収書および、得意先に渡した納品書や領収書の控えなどの重要な証拠書類を()という。

選択肢
証ひょう
伝票
仕訳帳
補助簿

- ⑩ 小切手を振り出して備品を購入した際に用いられる伝票は、()伝票である。

選択肢
入金
振替
出金
出荷

第2問(40点)

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は選択肢の中から、最も適当なものを使用し、商品の売買の記帳は3分(割)法によること。なお、特段の指示がある場合を除いて、消費税を考慮しなくて良い。

- ① 青森商店から商品¥80,000を仕入れ、代金は掛けとした。

借方科目	金額	貸方科目	金額

選択肢
仕入
現金
売掛金
買掛金
当座預金
未払金

- ② 福岡商店に商品¥190,000を売り渡し、代金のうち¥90,000は現金で、残額は同店振出しの約束手形で受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

選択肢
受取手形
現金
支払手形
売上
当座預金
買掛金

- ③ 秋田商店から掛けで仕入れた商品のうち¥4,000を、品質不良のため返品し、代金は買掛金から差し引くことにした。

借方科目	金額	貸方科目	金額

選択肢
買掛金
現金
売上
仕入
当座預金
雑費

- ④ 前橋銀行から¥2,000,000を借り入れ、当座預金口座に入金を受けた。

借方科目	金額	貸方科目	金額

選択肢
当座預金
現金
未払金
借入金
貸付金
資本金

- ⑤ 商品配達用の自動車¥1,560,000を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

選択肢
車両運搬具
現金
未払金
当座預金
買掛金
通信費

- ⑥ 店の現金¥60,000を店主の家計費として支出した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

選択肢
資本金
貸付金
租税公課
現金
借入金
雑費

- ⑦ 取引先である岡山商店のために取引の仲介をおこない、その手数料(収益)として同店振り出しの小切手¥40,000を受け取り、ただちに当座預金口座に預け入れた。

借方科目	金額	貸方科目	金額

選択肢
当座預金
受取手形
支払手形
受取手数料
売掛金
支払手数料

- ⑧ 新聞広告をおこない、料金¥130,000の支払いのため小切手を振り出した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

選択肢
広告宣伝費
受取手形
未払金
当座預金
支払手形
支払手数料

- ⑨ 当店は、固定資産税の第1期分¥72,000を現金で納付した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

選択肢
租税公課
支払手数料
受取利息
現金
売上
雑費

- ⑩ 埼玉商店に対する掛け代金¥300,000の支払いとして、手もとの現金¥50,000と当店振り出しの小切手¥250,000を渡した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

選択肢
買掛金
クレジット売掛金
未払金
現金
当座預金
仕入

第3問(30点)

長野商店(決算年1回、12月31日)は平成28年1月中の取引にもとづいて、下記のとおり同月末における月次合計残高試算表を作成している。この表を元に下記の問いに答えなさい。なお、長野商店は商品売買をすべて掛けにておこない、仕入れおよび売上げでの返品は生じていない。

(1)月次合計残高試算表を作成しなさい。

月次合計残高試算表

借方残高	借方合計	勘定科目	貸方合計	貸方残高
	1,560,000	現金	420,000	
	1,810,000	当座預金	542,000	
	200,000	受取手形	200,000	
	1,020,000	売掛金	710,000	
	360,000	繰越商品		
	500,000	備品		
		備品減価償却累計額	180,000	
	450,000	買掛金	700,000	
	80,000	借入金	600,000	
	30,000	資本	2,580,000	
		売上	790,000	
		受取手数料	160,000	
	520,000	仕入れ		
	170,000	給料		
	40,000	広告宣伝費		
	60,000	支払家賃		
	70,000	交通費		
	12,000	支払利息		
	6,882,000		6,882,000	

(2)以下の金額はいくらですか。

①1月中に売掛金を回収した額	
②1月末時点での備品の帳簿価額	
③1月末時点での負債の総額	
④1月中に発生した費用の総額	
⑤1月中に発生した収益の総額	

※ ■ が入力可能欄